



DocAve® 6 ソフトウェア プラットフォーム

SP3 CU2

リリースノート

リリース日: 2013 年 11 月 19 日

新機能と強化点

DocAve プラットフォーム

- Microsoft SharePoint Server/Foundation 2010 SP2 に対応しました。

API 強化点

- 管理 API から、フォルダーおよびアイテム レベルまでの一時権限の付与が可能になりました。

レポート ポイント

- すべての Web パーツがフランス語に対応しました。
- SharePoint Web パーツ のソーシャル レポート機能を強化しました。
 - 「最もアップロード数の多かった投稿者」を「最もアクティビティの多い投稿者」に変更しました。
 - レポート範囲をファームレベルまで設定可能にしました。
 - ユーザーによるスコープのカスタマイズが可能になりました。
 - 対応するメトリックスの数を追加しました。

データ保護

- SQL Server Data Manager のライセンス カウントの不具合を修正しました。

既知の問題

インストール

- Windowsのセキュリティ更新プログラム KB2756920 をインストールした後に、コントロール サービスにアクセスできない状態が発生した場合、修正プログラム KB2637518 をインストールすることで解決します。ダウンロードリンクは Microsoft® のサポート ナレッジベース 内にあります。

レポート ポイント

- ファーム レベルでのベスト プラクティス レポートに、評価カウントが含まれません。(SharePoint 2013 で発生)
- DocAve を SP3 CU2 にアップデートした後に SharePoint の Web パーツを再展開しなかった場合、ソーシャル データの収集と保存に問題が生じる場合があります。
- SharePoint 2013 ファームの内部に存在する SharePoint 2010 エクスペリエンス バージョンを使用している場合、サイト コレクションのトップ ディスカッション、およびトップ ブログ記事は、ディスカッション ボードの「いいね!」のデータ、および SharePoint 2013 エクスペリエンス バージョンの サイト コレクション内に存在する Web パーツのデータを収集します。しかし、「いいね!」機能は SharePoint 2010 には存在しないため、「いいね!」が押された回数は、ディスカッションの数とブログ投稿のアクティビティ総数には含まれますが、レポートには含まれません。
- ソーシャル アクティビティ Web パーツを「現在のサイト (サブサイトを含む)」に設定し、その後新しいサブサイトを作成した場合、ソーシャル コレクターは新しく作成されたサブサイトを認識しません。これを回避する方法としては、新しいサブサイトの作成後、Web パーツのソーシャル プロパティに移動し、「セクションの変更」をクリックして「アイテムの表示構成」ウィンドウを開き、OK をクリックして構成を再保存します。再保存後は、この Web パーツのデータは正常に収集されるようになります。

ストレージ最適化

コネクタ

- SharePoint ドキュメント ライブラリから変換した DocAve コンテンツ ライブラリ内のフォルダーで、SharePoint フォルダーに対して行った変更が正しく同期されない場合があります。(SharePoint 2013 で発生)
- フォルダーをコネクタのライブラリ間で移動した後に削除し、その後完全同期ジョブを実行すると、ネットシェア ストレージ内のフォルダーは削除されないまま残ります。

- SharePoint 2010 エクスペリエンス バージョンのテンプレートを使用して作成した SharePoint 2013 サイト コレクションでは、コネクタのライブラリを作成することはできません。
- エージェント サービスが停止中に SharePoint コネクタ ライブラリ内のファイルおよびフォルダーの名前が変更された場合、変更は構成されたファイルサーバー上のパスには同期されません。
- SharePoint 2010 から SharePoint 2013 にアップグレードする際、コネクタ ライブラリに変換したメディア ライブラリは現状アップグレードすることができません。メディア ライブラリ内のデータは、アップグレード後は使用できなくなります。
- IRM (Information Rights Management) は、SharePoint の制限の理由から、連携しているファイルのバージョンには対応していません。

管理

コンテンツ マネージャー

- コンテンツ マネージャー ジョブを実行してオンプレミスの SharePoint サイト コレクションから SharePoint Online サイト コレクションへ移行する場合、アンケート リスト内の **完了** 列の値は移行元の **いいえ** から移行先の **はい** に変更されます。(SharePoint 2010 で発生)
- コンテンツ マネージャ ジョブを実行して SharePoint オンプレミス ファーム内のドキュメント ライブラリから 手動で作成された SharePoint Online ファーム内のライブラリに SharePoint オブジェクトをコピー後、列マッピング内で構成済みの **管理されたメタデータ** 設定 (複数の値を許可する) が正常に動作しません。移行元の列の値は移行先で失われます。(SharePoint 2013で発生)
- コンテンツ マネージャー ジョブを実行して SharePoint オブジェクトを (ディスカッション リストを含めた) コミュニティ サイトから (ディスカッション リストを含めた) チーム サイトへコピーすると、コピー元のディスカッションはコピー先で使用できなくなります。この場合、リスト設定内の **削除** アクションがコピー先で非表示となり、**サイト コミュニティ** 機能がコピー先で有効化出来なくなります。(SharePoint 2013 で発生)
- エクスペリエンス バージョンが 2010 かつドキュメントセット機能を有効化しているサイト コレクションからエクスペリエンス バージョンが 2013 であるサイト コレクションにSharePoint オブジェクトをコピーすると、コピー元のドキュメントセットはコピー先サイト コレクションへコピーされません。(SharePoint Online 2013 ファームで発生)

展開マネージャー

- 展開元および展開先両方のコンテンツ タイプで名前が一致しているが型が一致しない場合、コンテンツ タイプは展開先で上書きされません。この場合、元の名前の末尾に連番を付与した新しいコンテンツ名が作成されます。(SharePoint 2010 で発生)

レプリケーター

- コンテンツ クエリ Web パーツ コンテンツがレプリケート先で正しく表示されない場合があります。これはコンテンツ クエリ Web パーツの関連コンテンツがレプリケート先に存在せず、そのためレプリケート ジョブに含まれない場合があるためです。この問題の解決法として、コンテンツ クエリ Web パーツの関連コンテンツがレプリケート元のスコープに含まれているか、レプリケート先に存在しているかを確認する必要があります。(Share Point 2010 で発生)
- SharePoint 2010 環境内で関連用語をアイテム レベルでレプリケートする際の問題を回避するため、Managed Metadata Service がレプリケート元・レプリケート先の両環境内の Web アプリケーションで有効になっていることを確認してください。
- SharePoint 2013 の保持およびリーガル ホールドの機能によって新たに作成されたファイル バージョンは、リアルタイム レプリケーションによる複製の対象にはなりません。これは新規作成ファイルが過去のバージョンの更新日時の情報を保持しているためです。この場合、ファイルはスケジュール レプリケート ジョブが実行されるタイミングでレプリケートされます。
- サイト コレクション管理者、サイト所有者、ファーム管理者などのグループのユーザー名は、1024 文字以上の長さに設定することはできません。(SharePoint 2013 で発生)

データ保護

スタンバイ センター

- スタンバイ センターは、Sharepoint 2010 のみに対応しています。
- ダッシュボードで複数のグループが選択されている場合、スタンバイ センターの同期・フェールオーバー ジョブが失敗することがあります。

プラットフォーム バックアップ & リカバリー

- SharePoint 2013 ファーム内に複数の Search Service アプリケーションが存在しており、かつインデックス コンポーネントが同一の SharePoint サーバー内に格納されていない場合、Search Service アプリケーション バックアップと同時にインデックス コンポーネントをバックアップすることはできません。
- 透過的データ暗号化済みデータベースを対象に [別の場所へリストア] を実行する前にリストア元のマスターキーをリストア先で生成していない場合、[別の場所へリストア] ジョブは失敗します。回避策として、リストア先 SQL Server 上で以下のコマンドを使用し、リストア元と同じマスターキーを生成することができます。

```
"USE master;  
GO  
CREATE MASTER KEY ENCRYPTION BY PASSWORD = '<(お使いのパスワード)>';  
Go"
```

その後 [別の場所へリストア] ジョブを実行し、TDE 暗号化済みデータベースをリストアします。

TDE 暗号化済みデータベースのバックアップの [別の場所へ] リストアを実行する場合は、マスター キーが必要です。リストア先の SQL Server でマスター キーを作成するには、以下の SQL ステートメントを使用してください。

```
"USE master;  
GO  
CREATE MASTER KEY ENCRYPTION BY PASSWORD = '<(お使いのパスワード)>';  
Go"
```

バックアップ ジョブの実行前に `<ForceUseCache>false</ForceUseCache>` 要素の値を **true** に変更すると、インデックスを正常に生成することができます。

最小単位バックアップ&リカバリー

- ドメイン マッピングを使用する際、末尾にドメイン拡張子が付与されている場合はドメイン マッピングが適用されません。例: [ドメイン名].com (SharePoint 2013 で発生)
- 権限の継承を解除したサブサイトがあるサイト コレクションをリストアする場合、リストア後のサブサイトは権限を継承し、バックアップ ジョブ前に作成した権限レベルはすべてサイト コレクションの権限レベルに含まれません。(SharePoint 2013 で発生)
- サイト コレクション管理者、サイト所有者、ファーム管理者などのグループのユーザー名は、対応するデータベースの指定のフィールドに保管されます。この指定のフィールドの長さは、1024 以上に設定することができません。(SharePoint 2013 で発生)

通知

本書に含まれる内容は AvePoint Japan が所有かつ提供し、AvePoint Japan およびライセンス所有者に帰属します。本書の内容は著作権および商標登録およびその他所有に関わる法律によって保護されます。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

著作権

Copyright © 2013 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本および国際著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複写、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0075 東京都港区高輪 4 丁目 10-18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

登録商標

AvePoint®, DocAve®, AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Microsoft Office SharePoint Servers 2007/2010/2013、SharePoint Portal Server 2003、Windows SharePoint Services、Windows SQL server、および Windows はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更

本書の情報は情報提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

AvePoint Japan 株式会社

〒 108-0075 東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階